

# 第66期 中間期 株主の皆様へ

平成28年4月1日▶平成28年9月30日

## Contents

私たちってこんな会社です。……	1
連結財務ハイライト……	2
トップインタビュー……	3
セグメント別の概況……	5
トピックス……	7
株主様アンケート結果のご報告……	7
連結財務諸表……	9
会社の概要・株式の状況……	10



# 私たちってこんな会社です。

## 高干穂交易は、産業と社会に新しい価値を提供します。

当社の提供する製品は、街やオフィス、家庭など、皆様の身近なところで広く活用されています。

**家庭**  
PC・デジカメ・スマートフォン(半導体・電子部品)



**ショッピングセンター**  
クラウド型無線LANシステム



商品監視システム




### Pickup!

**オフィス**  
入退室管理システム



ネットワークセキュリティシステム

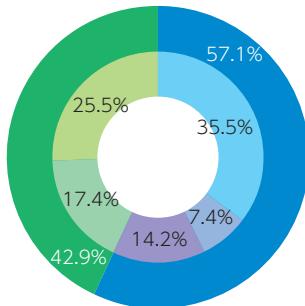


**銀行**  
ATM:現金自動預け払い機(スライドレール)



### セグメント別売上構成比

- システム
  - セキュリティ商品類
  - その他ソリューション商品類
  - カスタム・サービス商品類
- デバイス
  - 電子商品類
  - 産機商品類



### セグメント別：主要取扱い品目と売上構成比

**システム**

**セキュリティ商品類**  
商品監視システム、映像監視システム、ストアマネジメント関連システム、入退室管理システム、防火システムなど

**その他ソリューション商品類**  
RFID図書館管理システム、RFID物流・在庫管理システム、ネットワークセキュリティ関連機器、メールインサーティングシステム、クラウド型無線LANなど

**カスタム・サービス商品類**  
システム機器の設置・保守、コンサルティング及びシステム設計、システム運用受託など

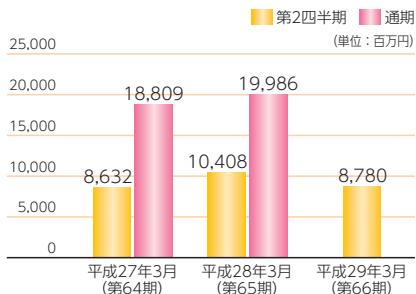
**デバイス**

**電子商品類**  
半導体、シリコンマイク、各種センサーなど

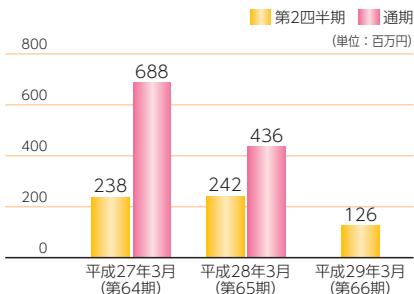
**産機商品類**  
スライドレール、ガススプリング、昇降システム、電子錠、ダンパーなど



**売上高** **87億80百万円**  
(前年同期比 **▲15.6%減**)

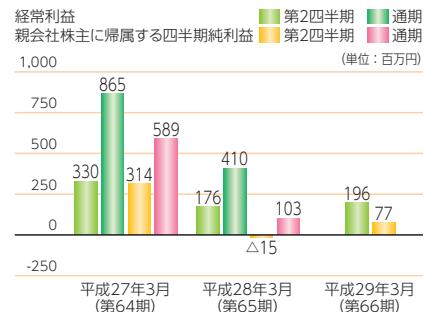


**営業利益** **1億26百万円**  
(前年同期比 **▲47.6%減**)



**経常利益** **1億96百万円**  
(前年同期比 **▲10.8%増**)

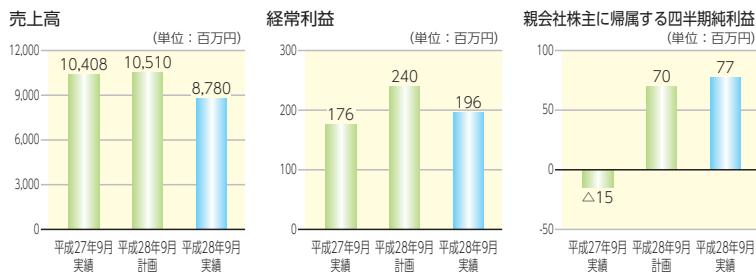
**親会社株主に帰属する  
四半期純利益** **77百万円**



## 平成29年3月期 第2四半期決算のポイント

- 中国ATM向け機構部品の販売不振やRFIDシステムの案件後ろ倒しなどにより減収
- 売上総利益率の改善やコスト削減に努めるも売上高減少の影響をカバーできずに営業利益は減益
- 経常利益・四半期純利益は為替差損発生要因を解消させたことなどにより増益

### 売上高・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益の前年同期及び計画との比較



## 通期見通しのポイント

- 売上のみ上期落ち込み分を下方修正するも、引き続き売上総利益率改善とコスト削減を推進し、利益計画達成を図る

売上高	<b>20,280</b> 百万円 (前年同期比 1.5%増)
営業利益	<b>800</b> 百万円 (前年同期比 83.2%増)
経常利益	<b>800</b> 百万円 (前年同期比 94.7%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>400</b> 百万円 (前年同期比 287.5%増)

# TOP INTERVIEW

## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
当社第66期中間期(平成28年4月1日から平成28年9月30日  
まで)の事業活動の概況をご報告申し上げます。

平成28年12月

代表取締役社長

戸田 秀雄



## Q まずは上期業績の総括をお願いします。

今年5月に公表しました中期経営計画の初年度に当たる今年は、中期経営方針として「独自ソリューションの展開とグローバル事業の拡大による利益成長の実現」を掲げ、その実現に向け取り組みを行っております。その中で上期業績は、外資系企業向け入退室管理システムの販売が好調に推移した一方、自国製品シフトの影響を受けた中国ATM市場における機構部品の販売不振やRFIDシステムの案件の後ろ倒し、さらに円高による海外子会社の円換算売上高の目減りなどから、売上高は前年同期比15.6%

減の87億80百万円となりました。

損益につきましては、売上総利益率の改善やコスト削減に努めたものの売上減少の影響をカバーするには至らず、営業利益は大幅な減益となりました。しかし経常利益では、前年同期に発生した為替差損の要因を解消し為替差益に転じたことなどから増益となり、また親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、前年同期と比較し増益となりました。

商品別では、システムセグメントのセキュリティ商品類は、好調に推移した外資系企業向け入退室管理システムに対し、アパレル小売店やGMS(総合スーパーマーケット)

ト)向けなどの販売が苦戦を強いられました。その他ソリューション商品類では、クラウド型無線LANシステムなどのネットワーク機器の販売が伸長した一方で、RFIDシステムの売上案件が後ろ倒しになったことや、メーリング機器において前年のマイナンバー関連特需が剥落した影響を受けたことなどから、大きく数字を落とす結果となりました。唯一、カスタマ・サービス商品類では、スマートフォン向けディスプレイセキュリティにおいて、当社技術担当が中心となり独自の保守体制を構築したことで、大口スポット保守収入などが増加しシステムセグメントの底支えとなっています。

デバイスセグメントの電子商品類では、産業機器や遊技市場向けの販売が堅調に推移した一方で、スマートフォン向け案件の苦戦やIP-PBX(構内交換機)の量産化後ろ倒しの影響から、売上高は前年同期比で減少となりました。また産機商品類は、海外小売店の金融端末向けに大型案件を獲得したものの、前述の中国ATM市場での販売不振や遊技市場向けの販売競争激化などにより、前年同期を大きく下回りました。

このように、上期業績は不本意な結果に終わり、通期業績予想も売上のみ上期に落ち込んだ分を下方修正いたしましたが、中期経営計画のもと、両セグメントがそれぞれの商品類において新たな取組みを始めています。例えばGuardfire社では東南アジア全域で新規・拡張が数多く計画されている火力発電所案件の獲得が進むなど、グループ全体の受注残も増加しております。当社グループ一丸となってそれら戦略実行のより一層のスピードアップ

を図り、必ず成果に繋げてまいります。



### 主要連結子会社のS-Cubeと マイティカードが合併するそうですね。

はい。平成29年1月1日より始動します。RFID利用が本格化しつつあるアパレル市場と、顕在化しつつある製造業・物流業・サービス業の市場において、お客様のご要望にお応えし、更なる付加価値創出を実現するために、最適な事業体制を構築することが最も有効な手段であると考えました。両社の高い製品開発力を互いにブラッシュアップし、また互いの顧客基盤の共有や業務システムを統合することでさらなる営業力の強化および事業効率の向上を図り収益拡大へ繋げてまいります。



### 株主還元・配当方針について お聞かせください。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置づけ、安定かつ継続的な配当の実施を基本方針としており、今期も厳しい業績ながら予定通り年間24円(うち中間期12円)の配当を実施する予定です。また株主還元策の一環として、9月には自己株式の買い付けを実施し、資本効率の向上を図っております。一方、中・長期に亘る将来の持続的な成長に向けた投資にも注力し、内部留保を事業拡大に活用することで株主還元を果たしていきたいと考えております。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

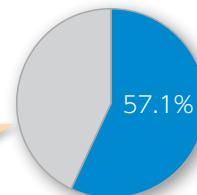


# セグメント別の概況

**システム**：カスタマ・サービスは増収となるが、セキュリティとその他ソリューションでは減収

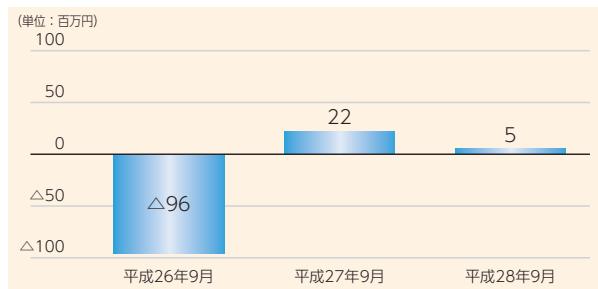
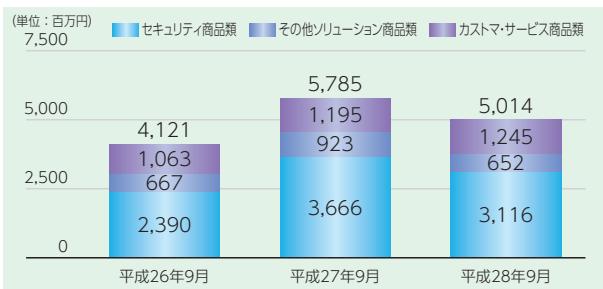
**システム** 売上高は前年同期比13.3%減の50億14百万円、営業利益は前年同期比75.2%減の5百万円

売上構成比



売上高  
**13.3%減**

営業利益  
**75.2%減**



## セキュリティ商品類 (前年同期比15.0%減)

外資系企業向け入退室管理システムの販売が好調に推移した一方



で、アパレル小売店やGMS(総合スーパーマーケット)向けなどの販売が苦戦したことなどから、売上高は前年同期比15.0%減の31億16百万円となりました。

## その他ソリューション商品類 (前年同期比29.4%減)

クラウド型無線LANシステムなどのネットワーク機器の販売が伸長した一方で、RFIDシステムの売上案件が後ろ倒し、メーリング機器の前年のマイナンバー関連特需が剥落した影響などから、売上高は前年同期比29.4%減の6億52百万円となりました。



## カスタマ・サービス商品類 (前年同期比4.3%増)

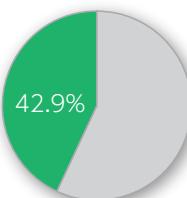
スマートフォン向けディスプレイセキュリティの大口スポット保守収入などが増加したことから、売上高は前年同期比4.3%増の12億45百万円となりました。



## デバイス：電子・産機ともに減収

デバイス 売上高は前年同期比18.6%減の37億65百万円、  
営業利益は前年同期比43.5%減の1億23百万円

売上構成比



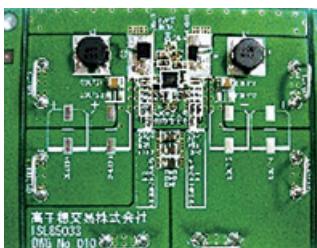
売上高  
18.6%減

営業利益  
43.5%減



### 電子商品類(前年同期比14.4%減)

産業機器、遊技市場向け販売が堅調に推移した一方で、スマートフォン向けの販売が苦戦したことやIP-PBX(構内交換機)の量産化が後ろ倒しの影響から、売上高は前年同期比14.4%減の15億24百万円となりました。



### 産機商品類(前年同期比21.2%減)

海外小売店の金融端末向けに大型案件を獲得したものの、本国製品シフトの影響を受けた中国ATM市場での販売不振や遊技市場向けの販売競争激化などから、売上高は前年同期比21.2%減の22億40百万円となりました。



## Cisco Merakiクラウド型無線LANシステム 文教分野での導入事例 ～ 玉川聖学院様 Cisco Merakiクラウド型無線LANシステム導入! ～

近年、教育現場でもICT(Information and Communication Technology: 情報通信技術)活用が強力に推進されてきています。そのような中、当社取り扱い製品であるクラウド型無線LANシステム・Cisco Merakiにおいて、その一端を担う実績がありましたので、ご紹介いたします。

東京都世田谷区にある玉川聖学院(私立中高一貫校)様は、ICT教育のパイオニアとして革新的な教育展開を目標とし、以前より高等部の生徒向けの授業や家庭学習でタブレットの積極的な活用を進めてきました。その発展として、この4月よりBYOD(Bring Your Own Device)という、個人所有端末を学校に持ち込んで利用するプログラムを導入しました。しかし既存のネットワーク環境ではBYOD運用管理に不安があり、対策を検討されていたところ、端末管理(MDM=端末紛失時の初期化やアプリケーションの一括ダウンロードや使用制限など)の他、無線、スイッチ、セキュリティも併せて一元管理が可能となるなど利便性が高いCisco Merakiの機能を非常に高く評価いただき、ご採用に結び付けました。

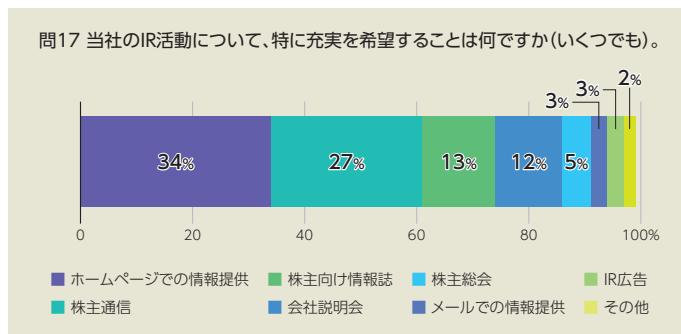
文部科学省や総務省においても、生徒の情報活用能力の育成、情報化による校務作業の軽減、教師間の情報共有などの側面で効果的なICTの活用を推進しています。当社としまして、今回の実績を皮切りに教育分野において広くCisco Merakiのシステムをご採用いただけるように、活動を強化してまいります。



玉川聖学院様

### 株主様アンケート結果のご報告 ～ 今後のIR活動への取組みについて ～

前号で実施させていただきましたアンケートにつきましては、多くの株主の皆様よりご回答をいただき、心より御礼申し上げます。お寄せいただきましたご意見・ご感想は、今後のIR活動に活かしてまいります。



#### Q. 当社のIR活動について 特に充実を希望することは何ですか?

「ホームページでの情報提供」「株主通信」「株主向け情報誌」「会社説明会」について、充実を希望されるというご回答を多くいただきました。

これらのご回答内容にお応えすべく、また株主の皆様にご社のことをより知っていただくために、今期、当社では積極的にIR活動への取組みを進めております。その中から2件ご紹介いたします。

## インターネット通販事業のご紹介 ～ crevita(クレヴィータ) ～

当社は、創業以来世界の最先端技術をいち早く日本市場に紹介することを使命とし、製造業、小売業などを中心に事業展開してまいりました。その経験を消費者向けに活かすため、2013年に国内外の新技术や優れたデザインの商品を扱うインターネット通販サイト『crevita』を開業し、市場拡大を続けるインターネット通販事業を開始いたしました。

スマートフォンなどの普及や通信環境の改善により、EC化率(全ての商取引のうち、電子商取引が占める割合)は上昇、さらに越境EC(インターネット通販サイトを通じた国際的な電子商取引)も増加し\*、インターネットの活用は今後より一層の拡大が予想されます。当社は、消費者ニーズやトレンドの変化をいち早く察知し、輸入商社としての強みを活かした海外の先端デジタル商材(例えば、家の温度・湿度の管理、家電などをスマートフォンで管理できる「スマートホームシステム」、世界最小、高音質を実現した次世代型「ブルートゥースイヤホン」)など、これまで取り扱ったことのない全く新しい分野の商材を世界中から集め、モノや生活に関してより高い感性を持つ様々なお客様にご満足いただけるよう、新たなビジネスの創出を進めてまいりたいと考えております。

\*経済産業省 公式HP:電子商取引に関する市場調査の結果を取りまとめました～国内BtoC-EC市場規模は13.8兆円に成長～  
<http://www.meti.go.jp/press/2016/06/20160614001/20160614001.html>



『crevita』は「創造」のCreationと「生活」のVita(ラテン語)を組み合わせた造語で、ライフスタイルの新たな価値創造という意味を込めています。

### 『企業調査レポート』の発行

投資支援サービス会社の(株)フィスコのアナリストが分析した、『企業取材レポート』が7月に発行されました。事業内容や2015年度(平成27年度)業績、中期経営計画など決算短信では記載しきれない情報が詳細に記載されています。こちらのレポートは当社ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。(http://www.takachiho-kk.co.jp/ir/report\_pdf/report20160722.pdf)

### 株主優待紹介本へ情報掲載

当社の株主優待は、既にご存知いただいておりますとおり、毎年3月31日時点で単元株(100株)以上保有の株主様に対し、一律に「おこめ券」3kg分を贈呈しております。こちらの情報につきましても、事業内容などと共に『知って得する株主優待2017』に情報を掲載いたしております。

これを機に改めて当社についてご興味・ご関心を高めていただけますよう、引き続きIR活動に積極的に取り組んでまいります。





## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成28年9月30日	前期 平成28年3月31日
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	14,574	14,992
固定資産	2,912	3,261
有形固定資産	307	306
無形固定資産	1,264	1,587
投資その他の資産	1,340	1,367
資産合計	17,486	18,253
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	3,462	3,693
固定負債	718	716
負債合計	4,181	4,409
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	13,742	13,967
資本金	1,209	1,208
資本剰余金	1,170	1,169
利益剰余金	12,147	12,194
自己株式	△783	△604
その他の包括利益累計額	△445	△140
新株予約権	7	17
非支配株主持分	0	0
純資産合計	13,305	13,844
負債純資産合計	17,486	18,253

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	前第2四半期 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
売上高	8,780	10,408
売上原価	6,474	7,860
売上総利益	2,305	2,547
販売費及び一般管理費	2,178	2,305
営業利益	126	242
営業外収益	71	28
営業外費用	2	94
経常利益	196	176
特別利益	11	21
特別損失	—	69
税金等調整前四半期純利益	207	129
法人税、住民税及び事業税	129	144
法人税等調整額	0	△1
法人税等合計	130	142
四半期純利益又は四半期純損失(△)	77	△13
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	77	△15

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	前第2四半期 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	716	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△294	△478
現金及び現金同等物に係る換算差額	△127	△88
現金及び現金同等物の増減額	255	△592
現金及び現金同等物の期首残高	5,158	4,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,428	4,520

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。



## ■ 会社概要

設 立	昭和27年3月
資 本 金	12億921万円
従 業 員 数	227名 (単体)、495名 (連結)
取引金融機関	みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行
主 要 業 務	セキュリティシステム、情報ネットワークシステム、ICタグ応用システム、防火システム、半導体及び機構部品等の輸出入及び販売・据付・保守サービス並びにシステム設計・システム運用受託等サービス
ホームページ	<a href="http://www.takachiho-kk.co.jp/">http://www.takachiho-kk.co.jp/</a>

## ■ 取締役・監査役

代表取締役社長兼社長執行役員	戸 田 秀 雄
取 締 役 兼 執 行 役 員	小 原 敬 一
取 締 役 兼 執 行 役 員	平 山 英 樹
取 締 役 兼 執 行 役 員	平 田 嘉 昭
取 締 役 兼 執 行 役 員	植 松 昌 澄
取 締 役	和佐野 哲 男※
取 締 役	野 中 隆 史※
常 勤 監 査 役	武 智 良 泰
監 査 役	小 海 正 勝※※
監 査 役	石 原 良 一※※
監 査 役	大 塚 康 徳※※

(注) ※は社外取締役です。※※は社外監査役です。

## ■ 執行役員

執 行 役 員	横 戸 憲 一
執 行 役 員	井 出 尊 信
執 行 役 員	高 山 博 喜
執 行 役 員	辰 己 一 道
執 行 役 員	千 葉 芳 久

発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式の総数	10,171,800株
株 主 数	12,453名

## ■ 大株主

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社マースエンジニアリング	804,000	8.61
セ コ ム 株 式 会 社	450,000	4.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	414,200	4.43
日立オートモティブシステムズ株式会社	380,000	4.06
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	300,600	3.21
株式会社マーストークンソリューション	265,000	2.83
高千穂交易従業員持株会	225,690	2.41
明治安田生命保険相互会社	216,000	2.31
ヒューリック株式会社	200,000	2.14
栃 本 京 子	156,100	1.67

(注) 当社は、自己株式833,857株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式数を控除して算出し、小数第3位以下を切捨てて表示しております。

## ■ 株式分布状況



金融機関	25名	0.20%
金融商品取引業者	21名	0.17%
その他法人	68名	0.55%
外国法人等	36名	0.29%
個人その他	12,303名	98.79%

金融機関	1,802,100株	17.72%
金融商品取引業者	133,867株	1.32%
その他法人	2,973,372株	29.23%
外国法人等	84,450株	0.83%
個人その他	5,178,011株	50.90%

生活に楽しむ   
CREVITA  
PREMIUM

楽天市場、Yahoo!ショッピングで  
3店舗開設、運営しております。

crevita

検索 

『面白いデジタル雑貨が見つかる!』



《商品一例》



楽天市場店  
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/livingslide/>



Yahoo!店  
<http://shopping.geocities.jp/takachiho-kk/index.html>



Yahoo! PREMIUM店  
<http://shopping.geocities.jp/crevita/index.html>

## 株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 期末配当金 3月31日  
受領株主確定日
- 中間配当金 9月30日  
受領株主確定日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

### 【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙（届出住所の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、以下のお電話並びにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

TEL：0120-244-479（通話料無料）

インターネットアドレス：<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 公告の方法 電子公告により行います。  
公告掲載URL <http://www.takachiho-kk.co.jp/>  
(ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)
- 1単元の株式数 100株
- 株主優待制度 毎年3月末時点で100株以上保有している株主様に一律お米券3kg分を贈呈

 高千穂交易株式会社  
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目2番8号  
TEL 03-3355-1111 (代)  
URL <http://www.takachiho-kk.co.jp/>

UD  
FONT

 ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
www.fsc.org FSC® C013080

 VEGETABLE  
OIL INK